

# 寿産業

日本のものづくりを支えている要因のひとつに、高度な技術を持つ産業用機器メーカーの存在がある。

寿産業は、規模は決して大きくはないものの、確固たる技術を持ち、

わが国の鉄鋼メーカーのものがつくりを支えている企業だ。同社は、1951年に初代社長が富士製鐵(現・新日本製鐵)室蘭製鐵所向けにメンテナンス部品納入業者として創業し、63年の棒鋼用ローラーガイド1号機を開発して以来、ローラーガイドメーカーとして歩んできた。

ローラーガイドとは、圧延鋼材の進行方向に、左右対称に複数のローラーを備え、そのローラーで圧延鋼

## 特許戦略と現場主義で、ものづくりを支える

材を抱合して圧延ロールに誘導する装置のこと。圧延鋼材に与える摩擦が極端に少なくなるため、焼き付きを防止し、擦りキズを減らし、歩留りと品質の向上に欠かせない機器だ。

同社製のローラーガイドを使用することにより、棒鋼・自動車用鋼板などの品質や形状が安定し、同じ耐久性でより細かい製品に対応できるため、軽量化や小型化が可能になり、自動車では燃費の向上やデザイン

の自由度(車内空間の確保)につながっている。

現在ローラーガイドの国内主要取引先は、高炉・電炉・特殊鋼・プラントメーカー合わせて50社超、輸出先も15カ国46社(47工場)、国

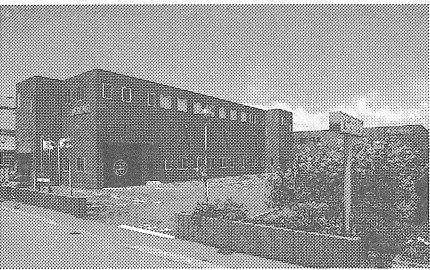
内シェアは約7割を誇る。同社のローラーガイドは1号機からユーザーである鉄鋼メーカーと共同特許を取得している。現有特許は国内で85件、海外でも8件ある。その4割は顧客との共同特許である。これは鉄鋼メーカーの生産体制と自社

の技術ノウハウの両方を同時に保護するためのものであり、営業戦略として有効に活用されている。

特許戦略とともに同社が強みとしているのはお客様第一主義であり、現場主義

である。社長自らが率先して全国の顧客を訪ね現場技術者と会話を交わすことを実践している。これは、全国8カ所の営業所と出張所の技術員も実践していること

で、「こういうことができる」と便利だ「こんなことで困っている」といった話をヒントとして持ち帰り、製品改良に反映させている。製品納入後は実際の圧延使用時に立ち会って、設計通りの性能を発揮しているかの確認まで行うという徹底ぶりだ。これは、その後の商品



寿産業の発寒工場(札幌市)

開発に生かされてくる。発寒工場では近年作業改善の一環として、「五軸複合MCニ五面加工門型MCニワイヤー放電加工機」を導入している。

ローラーガイドを中心とする創業以来の鉄鋼関連事業に加え、この10年ほど力を入れてきたのが、環境開

発室の廃タイヤリサイクル関連機器事業だ。廃タイヤのビートワイヤーをモーターの回転力で抜き取るビートワイヤー抜き機、ビートワイヤーを抜いたタイヤを切断する切断機、切断タイヤを破碎しながら、ゴムチップと細ワイヤーに分別する分離破碎機などを取り揃えている。

廃タイヤを利用して作ったりサイクル商品「ラバーシート」は、透水性に優れ、雨の日でも水溜りになら

ず、滑りにくい舗装材だ。また遮光性があるため除草効果があり、消音効果もある。このような性質のため、パークゴルフ場、プールサイドなど様々なところで使用されており、中でも幼稚園

では、園児が転んでも安全なマットとして使われている。現在はさらにゴムを微粉末化し直径100ミクロンまで粉碎する技術を開発し、ゴム製品メーカーと共同で用途開発を進めている。

まだまだ小規模ではあるが、社会的にも大きな意味を持つこの事業の今後に注目したい。

▽所在地 札幌市中央区北3条東2丁目2番地30  
代表者 鈴木俊幸 代表取締役社長  
▽資本金 9680万円  
▽従業員数 約60人